

2007年JSPSサマープログラムに109人が参加(葉山キャンパス)6月13日(水)～19日(火)



総合研究大学院大学は、国公私立大学、国立研究機関等を受入機関として、(独)日本学術振興会との共催にてプログラムを実施しています。

本プログラムは、欧米主要国の博士号取得前後の研究者を夏期2ヶ月間、我が国に招致し、我が国の文化や研究システムに関するオリエンテーションと日本側受入研究者の下での研究機会を提供するものです。

海外協力機関(米国国立科学財団(アメリカ合衆国)、ブリティッシュカウンシル(英国)、フランス国立科学研究センター(フランス)、独学術交流会(ドイツ)、カナダ大使館(カナダ)からの推薦に基づいて研究者を採用しています。

JSPSサマープログラムの詳しい内容については、下記をご参照ください。

<http://www.jspso.go.jp/j-summer/index.html>

■2007年JSPSサマープログラムに109人が参加

<日時> 2007年6月13日(水)～19日(火)

<会場> 総合研究大学院大学葉山本部、湘南国際村センター

<参加人数> 109名

6月13日(水)～6月19日(火)に、総合研究大学院大学葉山本部において2007年JSPSサマープログラム・オリエンテーションが開催されました。



西田理事の挨拶

フェロー(若手研究者)たちは日本語授業や、ポスター・プレゼンテーション、特別講義などのプログラムを行いながら、葉山・横須賀を中心とした地域住民の方にもご協力をいただき、地域交流として茶道・書道・折り紙などの日本文化紹介及び2泊3日のホームステイも体験しました。



総研大の学生と



交流を深める学生



聴講する学生たち



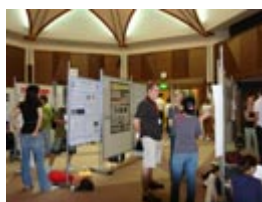
講義をする極域科学専攻 山内教授

1週間のプログラムを通じて、研究分野や国籍を超えて親睦を深めていました。なお、オリエンテーション終了後は全国各地の受入機関において約2か月の研究活動に入ります。

また今回の、2007年JSPSサマープログラム・オリエンテーションの様子の一部が6月28日(木曜日)のNHK総合「こんにちは いっと6けん」でも放映されました。



設営風景



他のフェローと意見交換



書道を体験するフェロー



作品を手にとってみる

[フェローたちの感想]

- 総研大の特別講義について

「メディアの講義は自分の関連テーマでしたから、興味深く聞きました。また、特別講義でとりあげられた地球温暖化の問題は地球規模の問題ですから、こういった機会に話し合われるのは良いことだと思います。」

- ポスター・プレゼンテーション

「私は脳神経学と心理学の観点からサルの表情を研究していますが、ロボットを研究している学生から別の視点でアドバイスを受けて大変参考になりました。」

「私たちは、皆自分の研究に誇りを持っており、活発な意見交換を行うことができました。」

「このように他の専攻の学生と意見交換することが少ないので、大変貴重な時間でした。自分の研究分野のみに没頭しないで、全体を見渡すことが大切だと思います。」



茶道を体験するフェロー



折り紙を体験するフェロー



全体での集合写真の撮影風景